



**女性建築士会の集い in 札幌
～防災ゲーム『クロスロード』
体験会～に参加して**

須藤志津子 (釧路支部)

今年度の女性建築士の集いは、北海道防災士会代表 前田博文氏をお招きし、防災ゲーム『クロスロード』を通じて、防災の意識を深めようという企画になりました。

まず、講師の北海道防災士会代表 前田博文氏から『防災士東京都は・・・?』のテーマでスライドを見ながらのお話しをお聞きしました。



前田博文氏の講演



その後、1チーム5人のA～Fチームに分かれて『クロスロード』を行いました。防災ゲーム『クロスロード』とは、1995年の阪神・淡路大震災の際、災害対応にあたった神戸市職員の「災害対応のジレンマ」をもとに作成されたゲームです。

「クロスロード」(Crossroad)

とは、「岐路」、「分かれ道」のことで、そこから転じて、重要な決断、判断のしどころを意味します。

「こちらを立てればあちらが立たず」-を、素材として、参加者が自分自身で二者択一の設問に判断を下す事を通じて、多様な価値観・多様な視点に気付き、相互に意見を交わす事を狙いとしています。

実際に『クロスロード』を行ってみると、非常に悩ましい設問ばかりでした。例えば、

- ①避難所で子供がお腹が空いたと言う。持ち出したお菓子を子供に与えるか？
 - ②避難所に3,000人いるが、食料が2,000人分しか無い。配るか？どうするか？
 - ③避難所で風邪が大流行、自宅は半壊。家に帰るか？
 - ④避難所に避難する時に家族同然の飼い犬を連れて行くか？
- 等の設問が7問有り、Yes、Noで答えるゲームでした。



クロスロードゲーム

各チームで同じ答えの多い人が、ポイントを貰い、一番ポイントが多かった人には前田代表からのプレゼントというおまけ付きに盛り上がり、一番となった私は手回しが出来るラジオ兼懐中電灯兼充電器を頂きました。

クロスロードゲームの後は、防災食・防災グッズの紹介がありました。防災食の紹介の際、「防災食を好きなもの、美味しいものにして避難生活のストレスを低減させる」というお話が印象的でした。



防災食・防災グッズの紹介

お話の後に、防災食の試食を行いました。最近の防災食は本当に美味しく、これなら避難生活の食に関するストレスは軽減されそうだと感じました。



とても美味しい防災食

又防災グッズ一式を入れるリュックは、市販の防災品でなくても家族各自が必要最低限の物を詰められる使いやすいもので良いと思いました。

一番大事な事は、まず命を守る事。それを自分にも家族にも徹底する事が重要だと感じました。